

令和6年度  
第1回学校教育活動アンケート  
(保護者) 集計結果  
※回答率 83%

そう思う  
どちらかといえばそう思う  
どちらかといえばそう思わない  
思わない  
わからない  
肯定回答(%)

R5第1回  
(回答率  
87%)

【確かな学力定着】

1	学校は分かりやすい授業づくりに努めていると思いますか	25	99	16	3	26	86.7	77.6
2	学校は家庭学習の習慣化や質の向上に努めていると思いますか	32	100	16	6	15	85.7	84.6

【豊かな人間性の育成】

1	学校はしっかりと生徒指導(社会で必要となる社会的資質・能力を身に付ける指導)を行っていると思いますか	37	98	10	10	14	87.1	84.0
2	学校はいじめに対してしっかり取り組んでいると思いますか	25	64	21	16	43	70.6	71.0
3	学校は将来の進路や職業についての指導を適切に行っていると思いますか	16	93	14	8	38	83.2	78.9

【健やかな心身の育成】

1	学校は道徳教育(豊かな人間性や社会性を育むための教育)に努めていると思いますか	28	94	13	5	29	87.1	83.5
2	学校は安全意識・健康意識を高める指導に努めていると思いますか	38	100	9	7	15	89.6	85.5
3	学校は体力・運動能力の向上に努めていると思いますか	34	96	17	7	15	84.4	83.1

【家庭や地域から信頼される学校】

1	お子さんは学校から満足して帰ってきていると思いますか	29	97	20	13	10	79.2	72.0
2	学校はお便りや通信、ホームページ等で学校の様子をよく伝えていると思いますか	60	87	8	9	5	89.6	89.1
3	学校は困ったことや悩みを相談しやすい雰囲気ですか	28	82	29	13	17	72.4	67.4
4	学校は地域との連携を図りながら教育活動を行っていると思いますか	25	99	16	9	20	83.2	83.2

※自由記述 別紙

令和6年8月26日  
校長

## 1 全体について

- 資料にはありませんが、昨年度に比べて、「わからない」との回答数が減っています。情報発信を始めとした本年度の取組やご家庭でのお声がけの成果と考えられます。「分からない」と回答された割合が20%を超えた項目は、「中学校はいじめに対してしっかり取り組んでいると思いますか」「学校は将来の進路や職業についての指導を適切に行っていると思いますか」の2項目でした。
- 昨年度の課題でもあった、「いじめへの取組」「相談のしやすさ」について課題を残しています。「いじめへの取組」については、未然防止、早期発見と早期対応の取組や結果についてお知らせしていきます。「相談のしやすさ」については、保護者の皆様からのご相談・ご要望について、可能な限り速やかに対応し、経過や結果をご報告するようにします。また、ご相談は担任や顧問以外でも学年主任や副校長も対応可能ですので、お話ししやすい方にご相談等していただければと思います。

## 2 各項目について

### (1)「学校経営」について

- 「お子さんは学校から満足して帰ってきていると思いますか」に対し、79%の肯定的回答があり、まなびフェストの目標値をクリアしています。今後も居場所づくり、絆づくりに努め、生徒の集団所属意識を高めていきます。

### (2)「確かな学力の定着」について

- 「授業が分かりやすい」と生徒からご家庭へ伝わっているようですので、私たちもこの評価を励みにさらに分かりやすい授業づくりに努めたいと思います。
- 家庭学習の取組について肯定的な回答が多いことから、生徒はよく家庭学習に取り組んでいることがうかがえます。現在の家庭学習指導を継続していきます。

### (3)「豊かな人間性の育成」について

- 生徒指導、進路指導について、おおむね保護者のご理解を得られていることがうかがえます。

### (4)「健やかな心身の育成」について

- どの項目も80%以上の肯定的な回答となっているので、心身の健康に関する指導が効果をあげている様子が見えます。

### (5)「家庭や地域から信頼される学校」について

- 学校からの情報をご家庭によく伝わっている様子が見えます、今後もそれぞれのねらいに応じた情報発信に努めていきます。

## 3 いじめへの取組について

- 本校の「いじめ防止基本方針」（学校HP参照）に基づいて取り組んでいます。
- 未然防止として、道徳教育や人権教育、体験活動の充実に努めています。また、分かる授業づくり、自己有用感や自己肯定感を育む教育活動の展開に努めています。
- 5月にいじめアンケートを実施、5月から6月にかけて教育相談期間を設け、担任と生徒一人一人が面談を行い、状況把握を行いました。
- いじめアンケートを受けて事実確認を行い、また、教育相談期間での聞き取りを通して、本年度は、これまでいじめとして6件認知し、方針に沿って解消のための指導を進めました。うち5件は本人からの訴え、残り1件は保護者からの訴えでした。
- いじめ被害を受けた生徒については、解消の目安となる3ヶ月間、教職員全体で意識的に見守りを行っています。

※ 次のそれぞれの質問に対し  
 1: そうだ 2: ややそうだ 3: あまりそうではない 4: そうではない

項目	No	質問内容	肯定的回答（1, 2の回答の割合）						
			1学年	2学年	昨年度末	3学年	昨年度末	全校	昨年度末
家庭生活	1	ゲームやスマホ等の使用は家庭でルールを決めて行っていますか。	78.9%	62.7%	74.6%	75.4%	70.8%	72.1%	71.2%
	2	目標をもって家庭学習に取り組んでいますか。	93.0%	76.0%	83.1%	72.5%	76.9%	80.5%	78.8%
	3	学校での出来事について家族で話をしますか。	84.5%	73.3%	73.2%	85.5%	83.1%	80.9%	81.8%
学校生活	1	時間を守って生活していますか。	95.8%	80.0%	85.9%	91.3%	86.2%	88.8%	86.9%
	2	隅々まで掃除をしていますか。	98.6%	90.7%	91.5%	91.3%	93.8%	93.5%	94.4%
	3	自分から明るく挨拶をしていますか。	91.5%	81.3%	83.1%	78.3%	73.8%	83.7%	80.3%
	4	素直で正直に生きていますか。	93.0%	77.3%	81.7%	76.8%	72.3%	82.3%	80.3%
	5	生命の尊さを理解し、大切にしていますか。	100.0%	96.0%	94.4%	98.6%	95.4%	98.1%	94.4%
	6	いじめを含む差別をしていませんか。	88.7%	85.3%	87.3%	94.2%	93.8%	89.3%	91.9%
	7	日ごろから健康を意識した生活を送っていますか。	98.6%	80.0%	81.7%	79.7%	84.6%	86.0%	84.8%
	8	将来の夢やつきたい仕事など具体的な目標を持っていますか。	67.6%	62.7%	70.4%	58.0%	61.5%	62.8%	65.7%
	9	自分にはよいところがあると思いますか。	93.0%	73.3%	73.2%	69.6%	64.6%	78.6%	71.7%
主体的な学びの実現	1	勉強することは好きですか。	66.2%	38.7%	45.1%	42.0%	36.9%	48.8%	40.9%
	2	授業で新しいことを学ぶことは楽しいですか。	88.7%	68.0%	74.6%	72.5%	64.6%	76.3%	72.7%
	3	国語の授業で学習した内容が定着している（身につけている）と思いますか。	93.0%	65.3%	80.3%	78.3%	84.6%	78.6%	86.9%
	4	数学の授業で学習した内容が定着している（身につけている）と思いますか。	93.0%	64.0%	67.6%	72.5%	56.9%	76.3%	65.7%
	5	社会の授業で学習した内容が定着している（身につけている）と思いますか。	91.5%	84.0%	69.0%	63.8%	73.8%	80.0%	73.7%
	6	英語の授業で学習した内容が定着している（身につけている）と思いますか。	90.1%	74.7%	66.2%	79.7%	76.9%	81.4%	72.7%
	7	理科の授業で学習した内容が定着している（身につけている）と思いますか。	94.4%	77.3%	78.9%	68.1%	72.3%	80.0%	76.8%
復興教育	1	各教科の授業の中で復興教育を意識する場面はありますか。	88.7%	73.3%	71.8%	69.6%	58.5%	77.2%	67.7%
	2	復興教育を通して学んだことを意識した生活を送っていますか。	77.5%	60.0%	71.8%	46.4%	36.9%	61.4%	56.1%

## 第1回学校教育活動アンケート（生徒）の評価と対応策

令和6年8月26日

校長

### 1 まなびフェストとの関連から

○学習内容が定着していると思う生徒の割合を75%以上にします。

→全体では、5教科すべて肯定的な回答が75%を超えています。しかし、2・3学年においては、下回っている教科もあり、指導方法の工夫・改善をさらに進めたいと思います。

○目標をもって家庭学習に取り組む生徒の割合を75%以上にします。

→全体では肯定的回答が80%を超えていますが、3学年は下回っています。また、2・3学年の昨年度末に比べての割合が低下しています。家庭学習の進め方指導とともに、学習内容の定着のため、進路目標実現のため等の意識付けを図っていきたいと思います。

○復興教育を意識した生活を送る生徒の割合を70%以上にします。

→肯定的回答61%。1学年は77%であり、被災地学習の成果が表れていると考えられます。改めて、学校教育全体で復興教育の3つの教育的価値を育てる指導を意図的に進める必要があります。

○将来の夢や就きたい仕事など具体的な目標を持つ生徒の割合を70%以上にします。

→肯定的回答63%で目標値に達していませんし、昨年度の同時期の割合70%よりも低くなっています。生き生きとキャリアを築いている方々の話を聞く等の方法を検討したいと思います。

○日ごろから健康を意識した生活を送る生徒の割合を90%にします。

→肯定的回答86%と目標まであと少しです。食育指導や思春期講演会等の実施、保健だよりによる啓発をしてきた成果であると考えられます。これらの取組を継続するとともに、ご家庭のご協力もお願いしたいです。

### 2 「三つの当たり前」「三つのこうありたい」の面から

・「時を守り 場を清め 礼を正す」の「三つの当たり前」では、あいさつに課題を残しています。生徒会でもあいさつ運動を展開している中で残念な結果となりました。あいさつの意義や役割について理解させ、行動化させたいと思います。

・3つの行動規範では、「素直で正直に生きる」という項目に課題を残しています。「素直で正直に生きる」という姿がどのようなものか大人でも難しい規範であるが、学校の道德教育を通じて、「素直で正直に生きる」良さを感じさせていきたいと思います。

### 3 その他

・「学校での出来事について家庭で話をしていますか？」の肯定的回答が81%となっており、学校の様子がよく伝わってことが伺えます。ご家庭でも引き続き積極的に聞いていただきたい。

・「授業で新しいことを学ぶことは好きですか？」の肯定的回答が76%で、「勉強することは好きですか？」の肯定的回答が49%であることから、授業では、生徒の知的好奇心「なぜ」「どうして」をかき立て、「なるほど」「わかった」に至るように、個人や仲間と探求活動を進めるような授業改善が必要と考えています。